



## 真空管の抱擁力とSITの出力特性 そしてOTLのダイナミズム

SD-016は・・・

鉄槌を振り下ろしたような最大級のフォルティッシモ、真剣で瞬時に斬り込んでくるような鋭い音の立ち上がり・・・刻一刻と多様に変化する音楽ソースを、真空管の持つ優れた許容量で受け止め、優れたリニアリティーを持つ唯一の国産デバイス SITで濃みなく流麗に出力するという高い次元の再現性を実現しました。

入力系統は4系統、4番目のメイン入力には外部のプリアンプを接続し、本機をパワーアンプとして使用する際に用います。音楽再生に負の影響を及ぼす温度上昇に対応するためクーリングファン、またデバイスを守る対策として各種保護機能を搭載。

真空管とSITという異なる素子の出会いと、Non-NFB且つ Output - Transformer - Lessで構成された回路がとどまるところを知らない流麗な音楽の流れを再現し、今まで眠っていたスピーカーの性能が躍動し始めます。SD-016は、より深層から立ち現れる音で音場空間を満たし、音の新たなステージへといざないます。

## Specifications

- 定格出力 : 50W + 50W (8Ω) / Stereo  
: 100W + 100W (4Ω) / Stereo
- 入力感度 : 125mV (Input1~3)  
: 0.63V (Input4)
- 入力インピーダンス : 50kΩ (Input1~3)  
: 250kΩ (Input4)
- 周波数特性 : 20Hz~100kHz
- 雑音歪み率 : 0.1% 以下
- 入力仕様 : 1~3 アンバランス/ライン入力  
: 4 アンバランス/プリアンプ入力
- デバイス構成 前段 : 三極五極複合管  
中段 : ドライブ段  
終段 : SIT SEPP O.T.L
- 回路構成 : Non-NFB, AB級
- 制御機能 : Over current 保護回路  
: SIT Protection  
: DC 検出/保護回路  
: 突入防止遅延保護機能  
: クーリングファン
- スタンドバイW : 50W
- 外形寸法 : 430W × 363D × 197H (mm)
- 重量 : 22kg



西澤潤一東北大学名誉教授（上智大学特任教授、東北大学総長、岩手県立大学学長、首都大学東京学長など歴任）によって開発された唯一・生粋の国産半導体デバイス。

静電誘導効果を利用したもので、大電流にも対応でき消費電力は少ない。

チャネル抵抗を極限まで減少させ、低内部抵抗・低損失・高速動作を実現。

入力信号の波形に忠実な増幅を可能とする、非常に特性の優れた半導体デバイスです。

### 〈 特徴 〉

1. 三極真空管特性	・・・	奇数次高調波歪み少
2. 等 $\mu$ 特性であり、リニアリティーが良い	・・・	電圧増幅歪み少
3. 電圧増幅率が大	・・・	少電圧駆動
4. 高周波特性が良い	・・・	利得帯域幅の積が広く、位相歪み少
5. 発生ノイズが少ない	・・・	内部発生ノイズが少
6. 出カインピーダンスが低い	・・・	良好な出力トランス特性が得られる
7. 寿命が半永久的	・・・	特性の経時変化が無い
8. 熱暴走が生じ難い	・・・	破損し難い

オーディオシステムにおけるアンプの果たす役割は、刻々とまた一瞬のうちに多様に変化する音楽ソースの情報をリアルタイムで忠実に、余すところなくスピーカーに伝えることです。

これはアンプの最終出力段における電気信号の正確さではなく、信号経路における正確さ、つまりアンプ回路内の各パーツ間でいかに損失や加工なく、信号がリアルタイムに伝わっているかが重要であることを意味します。そして、これを確立することが決して単なる電気信号ではない、「音楽」を再現することにつながります。

この「音楽」の再現性はオーディオにおいて最も重要であり、この認識を怠ると「音楽」の再現性は一つ一つのパーツを通過する度に確実に失われ、それはその後どんな手段を用いても絶対に復活しません。

つまり、アンプ回路内でいかに正確に信号を伝達し、音楽の再現性を保つには、結局優れた特性のパーツを最もシンプルな構成で組み上げることが最善策となります。

SITはその特性の良さからNFBや時間軸の異なる段での歪打消し回路などを必要としません。

そのSITを搭載し、最もシンプルな回路で構成され、音楽を色づけ・加工することなく再現させるのがマクソニックのSITアンプです。